

2016年 サンクチュアリ チャンピオンシップトーナメント 第3戦

日時 **2016年5月8日(日)**
受付 AM6:30~7:10
定員 66名
場所 第2ポンド
料金 大会参加費 6500円
(男女子供一律。各種割引はなし。但し会員割はあり。)

※エントリー開始日時

【メルマガ及びHPのエントリーフォーム】 4月15日(金)夜20時から
【現地枠】 4月14日(木) 朝7時30分から
(但し、釣り券購入の方のみとさせていただきます。)

※当日は、ハンバーグ弁当を500円にて販売致します。

但し、予約制とさせていただきますので、ご利用の方はエントリー時にお申込み下さい。

今年度のサンクチュアリ・チャンピオンシップトーナメントも最終の第3戦目となりました。
トップ36名の方だけが出場して頂けるファイナル戦は、9月25日(日)に
第3ポンドにて行います。
みなさん、ファイナリスト目指して頑張ってください！

※レギュレーション・大会方式ともに、変更になった事項があります。
エントリー前によくお読み頂き、事前にご確認下さい！

2016 サンクチュアリ・チャンピオンシップトーナメント

〈大会レギュレーション〉

- ・大会エントリーに関しては定員どおりとします。
- ・エントリーは、サンクチュアリHP・現地・メルマガからの受付とします。
- ・エントリーは先着順とします。

キャンセルについて

- ・キャンセルは大会前日 PM12:00までをお願いします。(キャンセルはメール・TELでもOKです。)
- ・ドタキャンは次2大会出場不可となります。
- ・キャンセル待ちの方が当日お越し頂いている場合、出場資格はキャンセル待ち番号順となります。
(先着順ではありません。)

遅刻について

- ・「受付時間内に連絡のない遅刻」はキャンセル扱いとなります。
- ・「受付時間内に連絡があった遅刻」の場合は競技時間中でも到着次第競技に参加できます。

大会ルール

- ・安全のため、サングラス、又はメガネおよび帽子は各自用意の上、必ず着用して下さい。
(不着用の場合、大会には参加できません。)
- ・大会使用ルアーは、市販されている鉄板素材のスプーンとリップ付きのプラグのみとします。
現在開発中の物、販売されていない物、自作の物は使用不可となります。
(判定が不可能な物に対しては、前日までに、もしくは当日スタート前までにスタッフへご確認下さい。)
- ・大会に使用する市販ルアーへの改造は、禁止します。おもりの貼り付けも禁止となります。
但し下記の変更は許可します。
 - ※大会レギュレーションに違反しない改造行為。
 - ※シングルバーブレスフックへの変更。
 - ※カラー変更及びシールの貼り付け。**(但し、市販品よりウエイトが著しく増える物、及び形状が変わるものは使用不可とします。)**
- ・スプーンのサイズはブレード長18mm以上5gまでとします。
- ・プラグのサイズは、ボディ長20mm～70mmまでとします。
- ・大会で使用するフックは全てシングルバーブレスに限定します。
(バーブを潰したフックも使用禁止です。)
- ・フック数は、1つのスプーンに最大1つまで、プラグは最大2つまでとします。
但し、1つのアイに最大1つまでとします。(市販されている状態からのフック位置の変更は不可)
- ・フック・スプリットリングカラーはゴールド・シルバー・黒とします。
- ・スプリットリングは、1つのアイに最大2つまでとし、市販品のウエイトよりも著しく増える様な物は禁止とします。
- ・赤いスレッドやケームライトなどを塗ったカラーフックは禁止とします。
- ・竿の長さは7フィートまで、持ち込み本数は無制限としますが、一度に荷物を移動できるようにして下さい。

- ・リールへの規制は現在のところありません。
- ・ラインへの規制は現在のところありません。
- ・スプーン2枚重ねは禁止とします。
- ・スプーンの前フックセットは禁止とします。
- ・ラバーネットは全長140センチまで、網の部分直径60センチまでとします。
- ・表層でルアーを停止させる釣り方は禁止とします。
(ルアーが流されて、他選手の妨げになるような釣り方は禁止です。)

取り込みの判定

- ・大会中に魚を陸に上げてしまった場合、行為的又は行為的じゃなくてもその魚は釣果数には含みません。(上記の様な行為があった場合、審判はその場で選手に伝えて下さい。)
- ・スレ掛かりはカウントしません。ただし、フックがエラブタより前に掛かっている場合は、アタックしたとみなし、OKとします。
- ・必ずラバーネットを使用して下さい。
- ・カウント基準は、ネットのフレームを通過した時点で1匹と判定します。
- ・1つのプラグにフックが2つある場合、各フックに魚が1匹ずつ掛かっている状態でネットインすれば、
2匹とカウントします。
- ・審判は、ネットに魚が入ったのを確認したら「○○さん OK です！」と、選手に伝えて下さい。
- ・ネットイン後、魚の口からフックが外れて、スレ掛かりの状態になる場合があるので 審判は、ヒットした時から注意して見ていて下さい。
- ・ネット内で魚を回したり、魚を行為的に弱らせるような取り込みリリースは禁止とします。
- ・時間内に掛かった魚は、終了コール後でもネットインすればOKとします。

マナー & 義務事項

- ・選手は開会式・表彰式には必ず参加して下さい。
- ・スコアカードは各自で管理し、予選及び決勝戦終了後、必ずスタッフに提出して下さい。
- ・スコアカードをスタッフへ提出する前に、選手と審判の間で必ず匹数の確認をしておいて下さい。
提出後の訂正及び苦情は一切受け付けません。
- ・フックをはずす際は可能な限り魚に触れないようにして下さい。
- ・事故防止の為、大会中の飲酒は禁止とします。
- ・競技中及び審判中の釣り座での喫煙は禁止とします。
(休憩時間・待機時間は喫煙場所でのみ OK とする。)
- ・競技時間中に観戦者が競技者へのアシスト(助言・タックルに触れるなど)は禁止とします。
- ・釣り座へのイスの持ち込みは禁止とします。
(但しハンディキャップのある方は、事前にスタッフまで申し出て下さい。)
- ・各ローテ時に、釣り座を移動する際は、必ず1度で荷物を移動させて下さい。
- ・大会中レギュレーション違反の疑い等を発見した場合は、誤解や見間違い等の可能性もありますので、選手間での話し合いは避け、必ずスタッフまで申し出て下さい。

大会進行

*** 放流は前日 1 回のみとなりますので、放流の釣りが得意な方は前半にお入り下さい!!**

予選

- ・A・B・Cの3つのエリアの前半・後半6グループにわかれます。
 - ・受け付けのときに引いてもらった、入漁券に書いてある番号順に入場します。
 - ・審判は、エリア内の前半・後半で同じ番号の方がペアとなります。
 - ・次のエリアへの入場順は、残り時間10分になった時点で順番待ちエリアに並んだ順とします。
 - ・3つのエリアを3ローターして周り、総釣果匹数で各グループ上位5名の方が、決勝ラウンドへ進出できます。
- ダブルジャッジ方式で行います。負けた方が決勝戦の審判になります。

前半 20分×3エリア

後半 20分×3エリア

※予選終了後、お昼休憩とします。(40分間)

決勝戦

- ・ABの2つのエリアにわかれ、同時に釣りを開始します。
- ・入場順は、予選でトップ通過された方からくじを引き、整列してから順に入場します。
 - * 片方のエリアが定員になると、以降の選手は必然的にエリアが決まります。
- ・次のエリアへの入場順は、残り時間10分になった時点で順番待ちエリアに並んだ順とします。
- ・審判は、予選で落ちた方が行います。
- ・2つのエリアを周り、総釣果匹数で順位を競います。
 - 20分×2エリア 合計 40分
- ・上位10位の中で同匹数が出た場合は、サドンデスマッチを行います。

* 2016年チャンピオンシップトーナメントのルール変更に関する案内です。
参加して頂いたみなさんから、様々なご意見を頂き、前年の2015年度チャンピオンシップトーナメント
開催前にみなさんにご意見を伺ったところ、半数以上の方が予選決勝方式の方がいいという事で、
2016年度も引き続きこの方式を採用する事になりましたが、より良い大会方式・大会運営をめざし、
参加者のみなさんが楽しんで頂ける様にと考えて、今回、この様な変更を致しました。
ただ、勝敗を決める大会なので、全員の方が100%楽しめる訳でも無いという事もあるわけで、
大会レギュレーションに関しては、ご理解の上、エントリーして頂ければと思います。
10年近く大会・トーナメントを運営していて、単純に皆さんが楽しくないと感じている部分を今回、
私たちに形にさせて頂きました。受け入れて頂けると幸いです。
なお、「超コアな大会」は、引き続きトップオブサンクチュアリにて行っていく予定をしております。

* 2017年度のチャンピオンシップトーナメントに関する大会方式に関しては、2016年3戦目終了後

参加者のみなさんのご意見を以下の3択から一つ選んで頂く様にと考えております。

- ①2016年度第1戦目「釣果の高い方から入場」方式がよい。
- ②2016年度第2戦目「釣果の高い方からくじ引きにて入場」方式がよい。
- ③2016年度第3戦目「残り時間10分になった時点で順番待ちエリアに並んだ順」方式がよい。

※みなさんがフェアに楽しんで頂けます様、またスムーズな大会運営にご協力頂けます様、
どうぞよろしくお願い致します。

(大会参加人数や状況によって大会方式が変更される場合もあります。)
大会中の状況に応じたレギュレーションの変更は主催者に帰属し、
規則に関する苦情は一切受け付けないこととする。